

きらり 保健師だより

ぐらしの学校を開催しました！

北部地区主催の『ぐらしの学校』を2024年7月～8月に計4回、熊谷生協病院にて開催しました。今回は『思春期の子どもに向き合うための親と子のコミュニケーション講座』がテーマで、子どもへの対応や接し方や公的支援制度について保健師、社会福祉士が講義を行いました。

毎回5名～10名の北部地区に住むお母さん方が参加されました。講義で知識を深めるだけでなく、デザートを食べながら交流をし、悩みや相談事を話し合うことができました。参加者からも、「話を聞いてもらえてほっとした」、「色々な立場の人から話を聞いて勉強になった」、「講義で事例から解答を検討したことで理解しやすかった」等の感想をいただきました。

また、参加された方同士でグループLINEでつながり、今後ともつながり続けることを意識しました。卒業後も交流し合い、12月21日(土)には同窓会で再会することになりました。

ぐらしの学校を通して、病院と地域住民の方が繋がるひとつのきっかけにもなり、その後の地域活動へも広げる事が出来ました。地域ネットワークの拡充のためにも、とても充実した活動となりました。

(熊谷生協病院 保健師 立野・平賀)



初めての講義でしたが大盛況でした。核家族化が進む中、様々な世代の人と悩みを共有する場ってありそうで中々ないんですね。『ぐらしの学校』を通して地域の人がつながり、熊谷生協病院ともつながる企画となりました♪(保健師職能部会事務局)

発行: 2024年10月
(2024年度 第2号)
医療生協さいたま
保健師職能部会

子ども保健教室を開催しました!!

8月29日(木)に差間支部主催の『子ども保健教室』を開催し、3歳～小学6年生の子ども35名と保護者21名が参加しました。今回は『差間子どもクリニック』と題し、医師・保健師・薬剤師からのミニ講義と職種別の体験を行いました。

前半の講義では、病院にいる職種をマグネット付きのイラストを使いながら説明。説明の途中で「まだー?」「ちょっとあきたー」等こどもたちからの素直なご意見をいただくことも(笑)。医師が血液の流れを分かりやすく説明し、血液は何からできているのか、血圧って何かということを説明しました。薬剤師からは薬のつくりかたを説明しました。

後半は、医師コーナー【聴診器で身体の音を聞いてみよう】、看護師コーナー【採血してみよう、血圧をはかってみよう】、薬剤師コーナー【お薬の包み紙を折ってみよう】に分かれて体験しました。

看護師コーナーでは、翼状針にみたてたチューブを使用し、保護者の方は患者さん役、子どもは看護師役として採血を実践してみました。「まずは、患者さんの名前を聞いてください」「腕に紐(駆血帯)を巻くよ」「針を刺す前に『痛いけど動かないよ、泣いても良いけど、動かないよ』と言います」「それ!(刺す声かけ)」「痛い?もう終わるよー」「終わったよ、よく頑張ったね」と声を掛け、子どもたちが保護者の方に採血をしました。保護者の方も「痛いですか?」「やさしくしてください」「うわー!」と子どもたちと楽しくコミュニケーションをとる機会となりました。

(ふれあい生協病院 保健師 小宮 あゆみ)



大盛況の子ども保健教室でした! 地域の中で医療に興味を持ってくれる子どもたちが増えてくれることは、喜ばしいことです(*^_^*) この中から将来一緒に働く仲間が増えるかも☆ミ 今から楽しみです!! (保健師職能部会事務局)